資料7

北陸地方等における豪雨災害、台風第25号災害等、中小河川等での主な被害と対策について

令和8年10月22日

水災害調査・対策検討委員会（第2回）

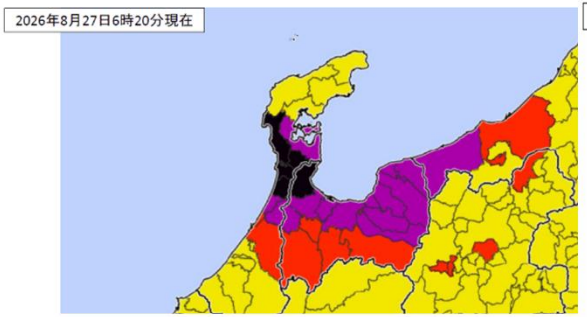
国土交通省　水管理・国土保全局

北陸地方等における豪雨の概要

○ 停滞する前線の活動が活発となったため、北陸地方では27日明け方から朝にかけて線状降水帯が相次いで発生。北陸地方では27日朝までの24時間雨量がこれまでの観測史上1位を更新する300ミリを超える記録的な大雨となり、石川県や富山県に27日06時20分から16時20分までレベル5大雨特別警報を発表。

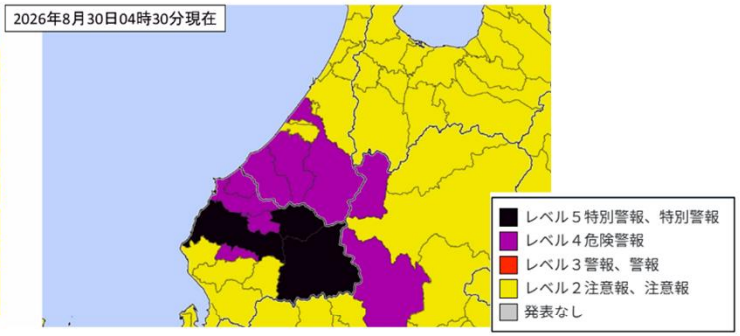
○ 北陸地方に停滞している前線に暖かく湿った空気が流れ込んだため、福井県では29日夜から雷を伴った非常に激しい雨が降った。福井県では、30日朝までの24時間降水量がこれまでの観測史上1位を更新する300ミリを超える記録的な大雨となり、福井県に30日04時30分から11時40分までレベル5大雨特別警報を発表。

特別警報を発表した市町



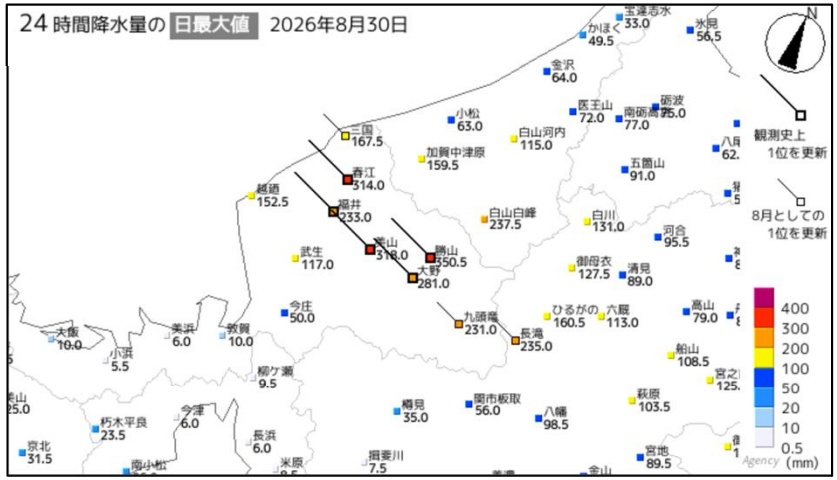
8月27日6時20分時点

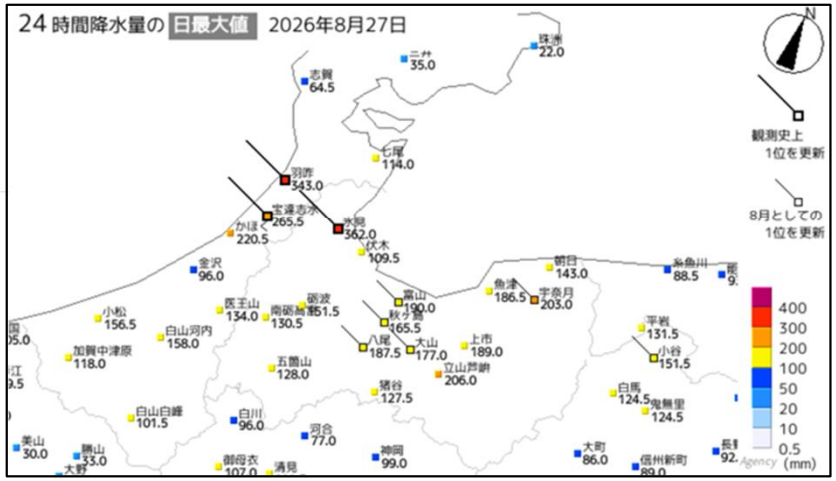
都道府県	地域名
石川県	羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町
富山県	氷見市



8月３０日４時３０分時点

都道府県	地域名
福井県	福井市、大野市、勝山市





24時間降水量

観測史上1位の値を更新（8地点）

都道府県	市町村	地点	更新した値		これまでの1位の値		統計開始年	備考
			mm	年月日　時分(まで)	mm	年月日		
富山県	氷見市	氷見（ヒミ）	362.0)	2026/08/27 20:30	224.5	2021/08/13	1978年	
石川県	羽咋市	羽咋（ハクイ）	343.0)	2026/08/27 21:00	216.5	2014/08/17	1976年	
石川県	羽咋郡宝達志水町	宝達志水（ホウダツシミズ）	265.5)	2026/08/27 20:20	213.5	2021/08/13	2003年	
福井県	坂井市	春江（ハルエ）	314.0)	2026/08/30 08:20	179.0	2018/07/07	2003年	
福井県	福井市	福井（フクイ）*	233.0)	2026/08/30 08:30	198	2004/07/18	1976年	
福井県	福井市	美山（ミヤマ）	318.0)	2026/08/30 11:00	285	2004/07/18	1976年	
福井県	勝山市	勝山（カツヤマ）	350.5)	2026/08/30 09:10	197	2006/07/19	1993年	
福井県	大野市	大野（オオノ）	281.0)	2026/08/30 11:20	215.0	2022/08/05	1976年	

（注）上記の表の1位の値は、1976年以降を対象に求めたものです。「*」を付加した地点（気象台等）では、1975年以前から1時間単位の月最大24時間降水量の統計を別に行っています。この値は、「過去の気象データの検索」で確認できます。

※気象庁HPより

令和8年8月27日からの大雨に伴う河川の対応状況

- ○ 北陸地方で8月27日朝までの24時間雨量がこれまでの観測史上1位を更新する300ミリを超える大雨となり、石川県管理の11河川、富山県管理の12河川において浸水被害が発生。そのうち、石川県管理の羽咋川水系飯山川と金丸川で堤防決壊。
- ○ 福井県では、8月30日朝までの24時間降水量がこれまでの観測史上1位を更新する300ミリを超える記録的な大雨となり、福井県管理の18河川において浸水被害が発生。
- ○ さらに、9月2日からの大雨で、青森県管理の2河川において浸水被害が発生。

福井県内における河川の状況

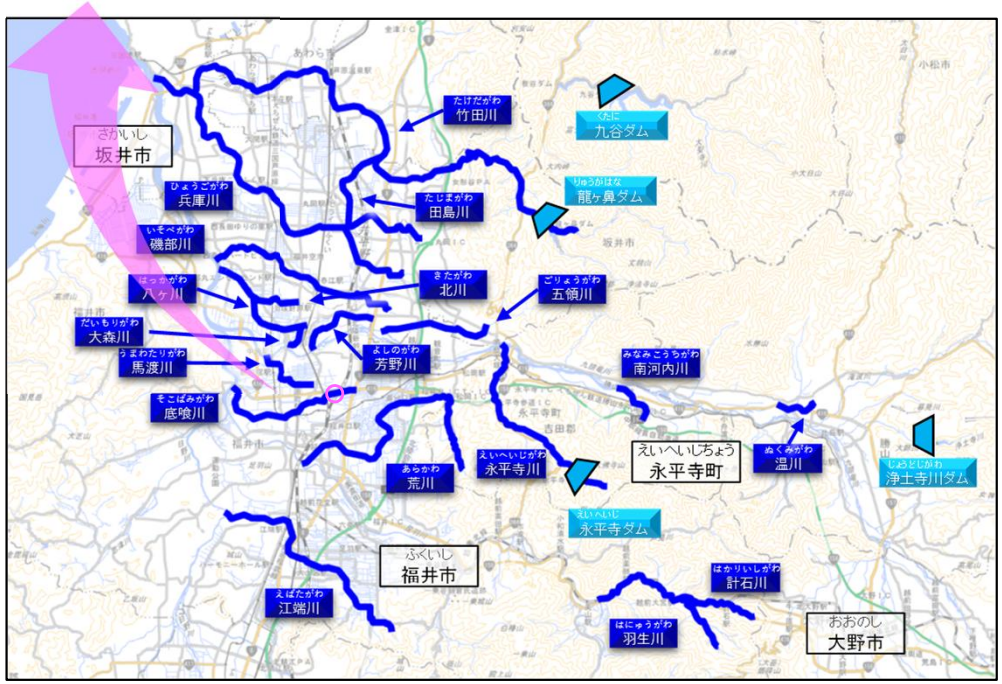
【浸水被害】

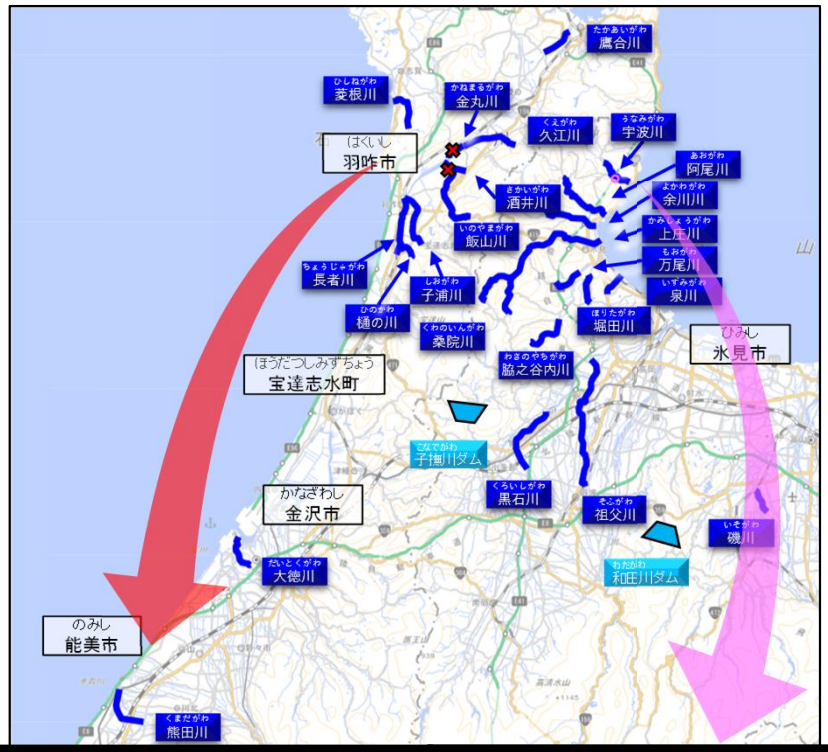
1水系18河川



凡例

- ：洪水調節を実施したダム
- ：氾濫(溢水）が発生した河川
- ：決壊箇所





石川県内における河川の状況

【浸水被害】

5水系11河川



羽咋川（はくいがわ）水系 飯山川（いのやまがわ）

富山県内における河川の状況

【浸水被害】

8水系12河川



余川川（よかわがわ）水系 余川川

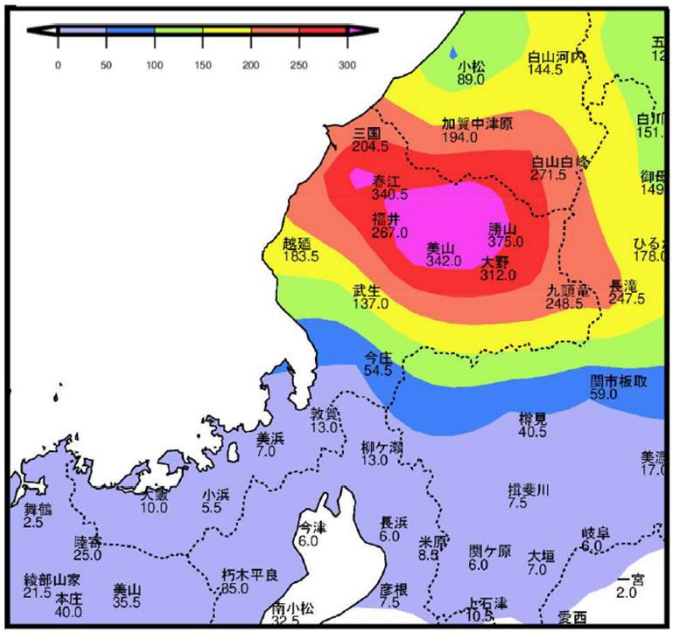
北陸地方等における豪雨被害に対する対応方針

○ この大雨により、石川県の羽咋川や、富山県の上庄川などでは河川整備基本方針に定める計画雨量を超過する降雨となり、羽咋川水系金丸川や飯山川では堤防が決壊するなどの甚大な被害が発生。

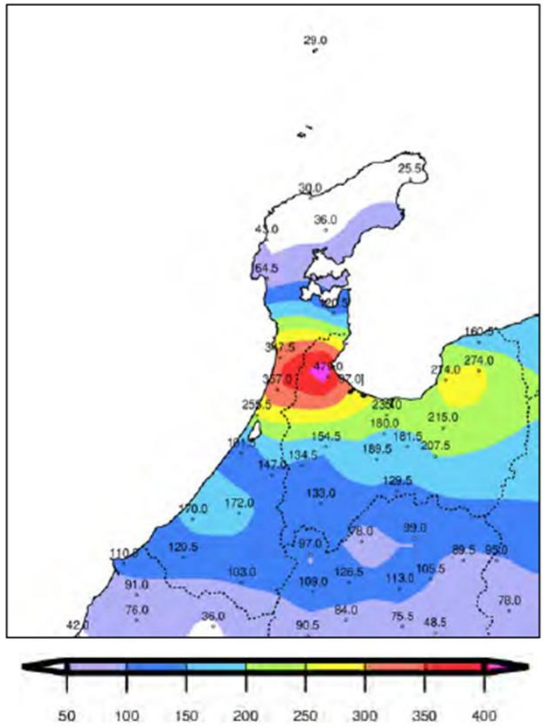
○ 今後の施設の能力を超える雨の発生も踏まえ、ハード・ソフト両面の対策を緊急的に実施していくことを検討。

＜アメダス積算降水量分布図（福井県、石川県・富山県）＞

アメダス　8 月 29 日から 30 日の日降水量合計分布図



アメダス積算降水量分布図（72時間）
（8月26日00時から8月28日24時）



＜石川県：羽咋川水系金丸川、飯山川の被災状況＞





各地域における浸水状況等を踏まえ再度災害防止や浸水被害軽減の観点から、
関係機関が連携して緊急的・一体的に取り組むハード・ソフト両面の対策を検討

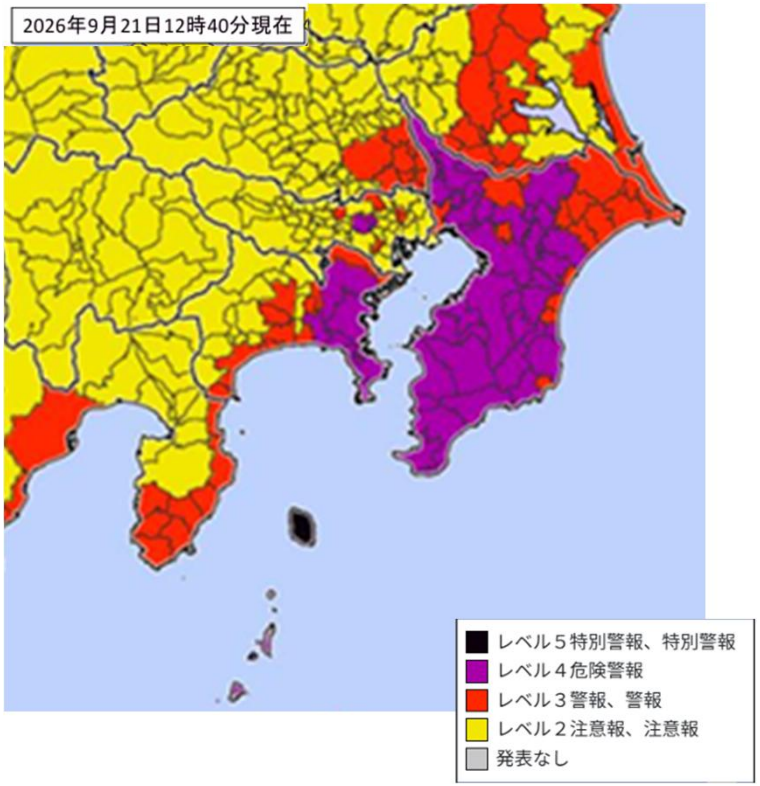
令和8年台風第25号の概要

○ 9月16日21時にマリアナ諸島で発生した台風第25号は、19日に小笠原諸島に接近、21日に大型で強い勢力で伊豆諸島や関東甲信地方に接近。その後、台風は22日21時に日本のはるか東で温帯低気圧に変わった。

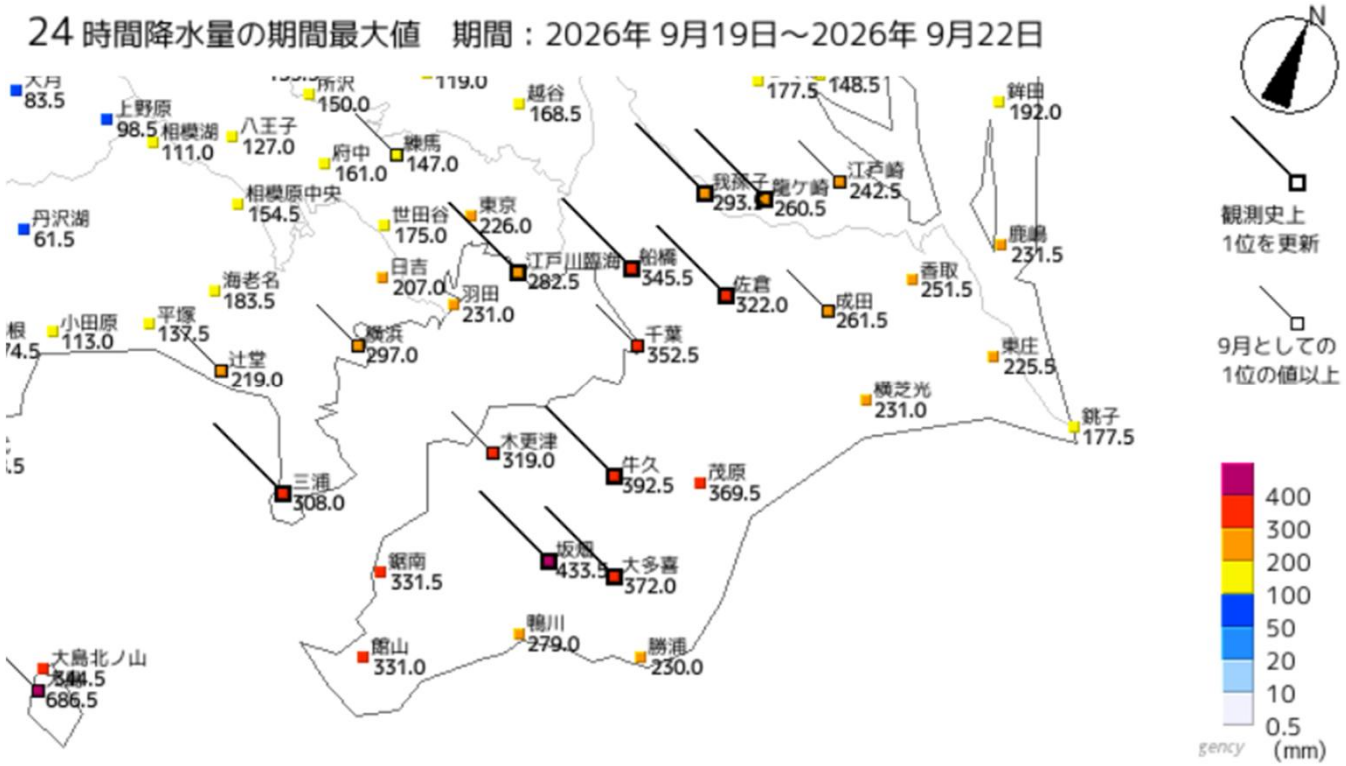
○ 関東甲信地方では21日の24時間降水量がこれまでの観測史上1位や9月の1位を更新し、19日から21日までの総雨量は伊豆諸島で800ミリ、千葉県や静岡県で500ミリを超えるなど記録的な大雨となった。

○ 東京都大島町に21日12時40分から21日23時00分までレベル5土砂災害特別警報を発表したほか、東海地方、関東甲信地方を中心に土砂災害・大雨・氾濫のレベル4危険警報を発表した。

＜特別警報等の発令状況＞



＜24時間降水量の期間最大値＞



出典：気象庁HP

【台風第25号】被害状況

■被災状況（人的被害等）

死者・負傷者	死者 17名　負傷者　41名	（令和8年10月5日 9:00 消防庁）
住家被害	全壊 67戸　半壊 414戸　一部損壊 248戸 床上浸水 424戸　床下浸水 1259戸	（令和8年10月5日 9:00 消防庁）
停電	最大 約62,704戸（9/22　0:19時点）	（令和8年10月5日 9:00 経済産業省）
断水	最大 約9,070戸（千葉県君津市、茨城県神栖市等）	（令和8年10月5日 9:00 国土交通省）

■被災状況（インフラ被害）（令和8年10月5日 9:00 国土交通省）

道路	一時、圏央道、千葉東金道路、国道16号などで雨量超過等により通行止めが発生 直轄国道は1路線1区間、補助国道は千葉県の4区間で被災による通行止めが継続
上下水道	（水道）千葉県内７市３町、茨城県内１市で断水が発生（復旧済み） （下水道）処理場：利根浄化センター（茨城県）浸水により汚泥処理施設の運転停止（応急復旧完了、水処理機能に影響なし） ポンプ場：長井ポンプ場（汚水）（神奈川県）浸水により機能停止（応急復旧済み）
河川	千葉県管理の14河川において浸水を確認。北印旛沼・北印旛沼（角川集水路）・長門川にて3地点4箇所の堤防決壊が発生（応急復旧実施中、2地点3箇所応急復旧完了）
土砂災害	816件（千葉県604件、神奈川県188件等）死者12名　※10月16日時点
鉄道	2事業者4路線で運転見合わせ。

■被災状況（その他）

盛土	4件（千葉県4件）人的被害なし	（令和8年9月28日 18:30 千葉県）



北印旛沼（千葉県成田市）



高崎川（千葉県佐倉市）

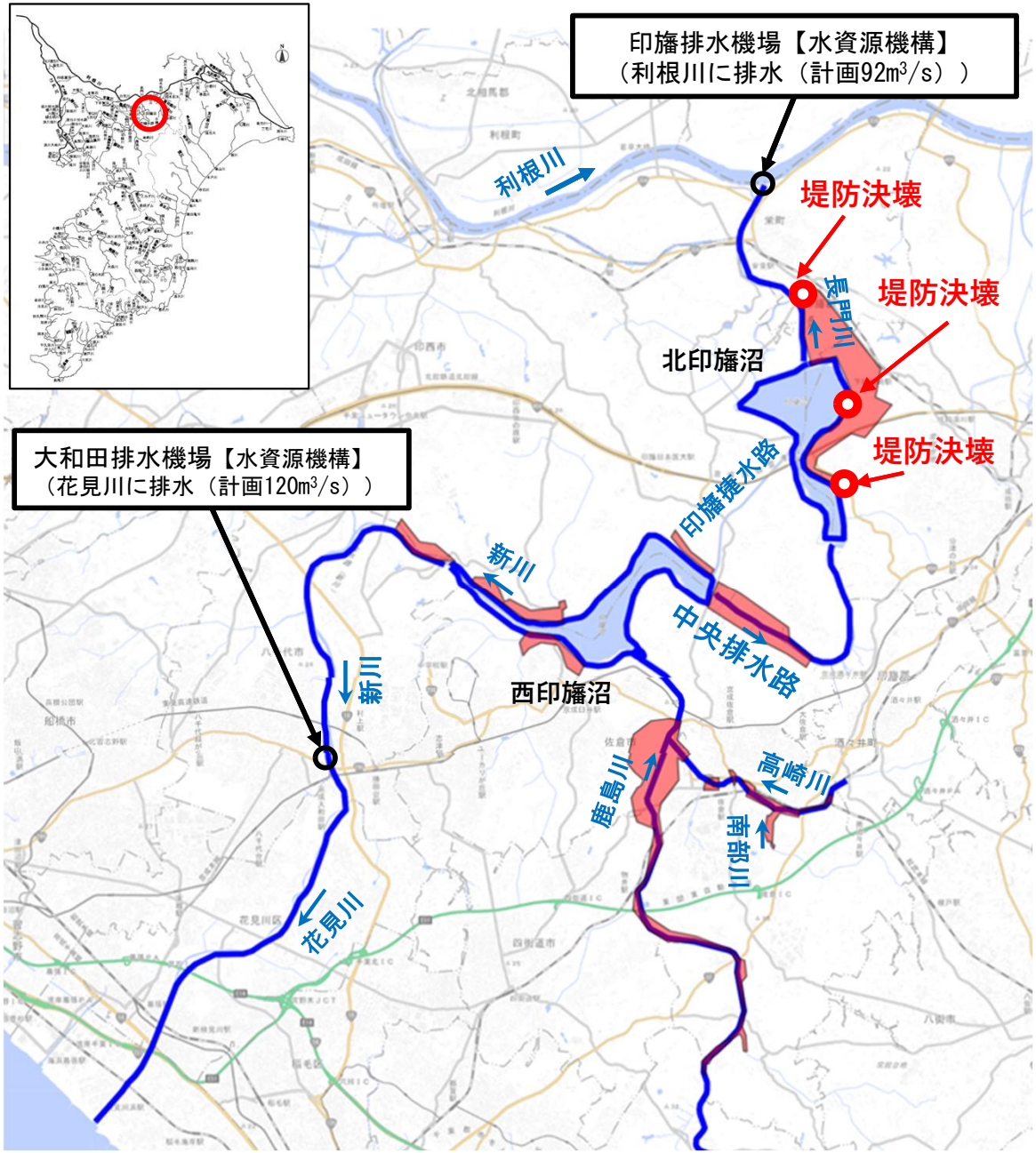


法面崩落（千葉県鋸南町）



土砂等流入（内房線）※事業者提供

【台風第25号】印旛沼周辺における緊急排水等オペレーション



：あおぞら号での撮影画像（令和8年9月22日14時頃）を基に浸水範囲を国土地理院にて作成
※撮影範囲外の浸水区域は図化できていない場合がある

■「チーム印旛沼」を結成

・千葉県、（独）水資源機構、関東地方整備局

■「印旛沼周辺における緊急排水等オペレーション」の3本の柱

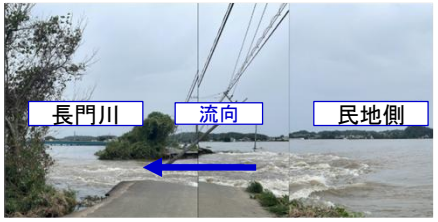
① 印旛沼の水位を可能な限り低下

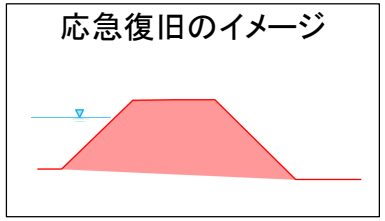




⇒排水ポンプ（大和田排水機場、印旛排水機場等）を最大限稼働し、印旛沼の水位を平常時の水位まで低下させた上で、可能な限り水位低下を図っていく

② 決壊した堤防の応急復旧（印旛沼等の3地区4か所）





⇒決壊箇所から再び氾濫することがないよう、現地での施工方法について技術的な支援を行い、早期の応急復旧を推進

③ 浸水箇所における緊急排水



⇒現在、印旛沼周辺地域など千葉県内で稼働している排水ポンプ車に加えて、堤防の決壊による氾濫水をいち早く排水するために、今後30台まで増強し、緊急排水オペレーションを実施

【台風第25号】印旛沼周辺堤防決壊箇所の現地調査

○ 令和8年台風第25号により堤防が決壊した北印旛沼及び角川集水路、長門川において、被災実態を把握するため、国土交通省国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人土木研究所の合同調査チームにより現地調査を実施。

1. 調査日
令和8年9月28日

2. 調査箇所（3地区4箇所）
①北印旛沼堤防（船形干拓地区）
②角川集水路
③長門川（栄町）

3. 主な調査項目
・被災形状
・洪水痕跡（痕跡水位、植生変化等）
・堤体及び基礎地盤の状況
・周辺施設等の状況
・応急復旧状況



出典：千葉県ウェブサイト

被災実態を把握するための調査であり、被災要因の分析等にあたっては詳細調査を実施する必要がある

【台風第25号】決壊箇所調査（①北印旛沼船形干拓地区）

- ○ 北印旛沼船形干拓地区では72.6mにわたって堤防が決壊。
- ○ 決壊箇所周辺の川表側では堤防天端から約1～2m付近に植生の状態の変化が見られ、決壊断面では天端から約1m下に泡沫痕を確認。
- ○ 決壊断面では、堤体下部付近で下層に均一な細砂主体の層（暗灰）が確認でき、上層の砂質シルト主体の層（褐色）に下層から貫入した砂脈を確認。



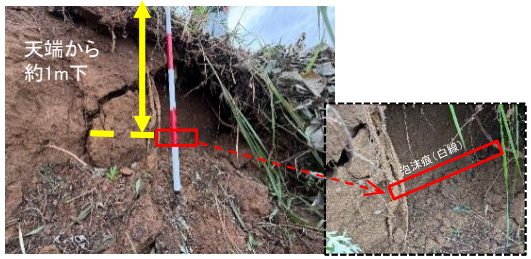
写真①　決壊箇所の状況（決壊区間南側より）





写真②　川表法面の状況

決壊箇所周辺の川表側の法面では天端から約1～2m 付近に植生の状態の変化を確認



写真③　決壊断面（上部）の状況

決壊断面では堤防天端約1m下で泡沫痕を確認



写真④　基礎地盤（川表）の状況

川表側の基礎地盤で検土杖を実施し、GL-0.15m ～ GL-0.5m 付近までは細砂を確認



写真⑤　決壊断面（下部）の状況

堤体下部付近で、下層の細砂主体の層（暗灰）から、上層に向かって砂脈の形成を確認

※被災実態を把握するための調査であり、被災要因の分析等にあたっては詳細調査を実施する必要がある

【台風第25号】決壊箇所調査（②角川集水路、③長門川）

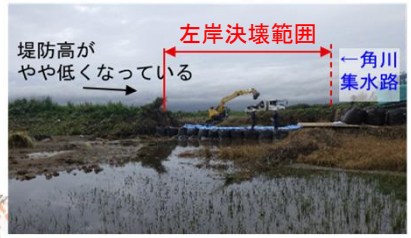
○ 印旛沼に流入する角川集水路では両岸で決壊。角川集水路左岸の決壊箇所付近の堤防天端では枯れ葉・茎等の散乱を確認。

○ 印旛沼から流出する長門川の右岸堤防が決壊。長門川の堤防決壊箇所付近では、電柱の堤防側への倒伏や樹木の堤外地側への傾倒等を確認。

【②角川集水路】



写真①　決壊箇所（右岸）の状況



写真②　決壊箇所（左岸）の状況

右岸の決壊箇所が、左岸の決壊箇所よりやや下流側に位置
両岸とも印旛沼周囲の堤防と連続しているが、堤防高がやや低くなっている





写真③　印旛沼（川表）の状況

印旛沼の堤防天端から1m 付近に植生の状態の変化を確認



写真④　堤防天端高の状況

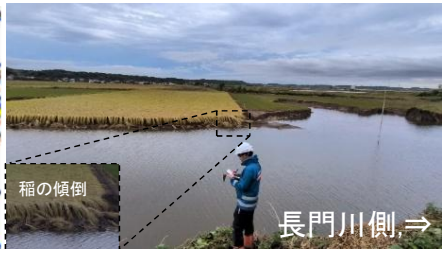
左岸堤防決壊箇所付近（上流側）の堤防天端には、枯葉・茎等が不規則な方向に散乱

【③長門川】





写真①　決壊箇所の状況



写真②　堤内地の状況

堤内地では水田が侵食され、稲穂が侵食された方向に傾倒



写真③　樹木の状況

樹木が堤外側に向かって傾倒



写真④　堤内地の状況

堤内地の電柱が堤防側に倒伏

※被災実態を把握するための調査であり、被災要因の分析等にあたっては詳細調査を実施する必要がある

台風第25号による豪雨被害に対する対応方針（印旛沼流域のイメージ）

○ 台風第25号に伴う大雨では、印旛沼流域の佐倉で観測史上1位を更新する雨量となり、印旛沼では堤防決壊するなど甚大な浸水被害が発生。

■考えられる取組の方向性

印旛沼流域の地形特性や、印旛沼と河川を通じた域外への排水システムの特徴を踏まえた取組を今後検討。

○印旛沼周辺一体が低平地であることも踏まえ**「水位上昇をできるだけ抑える」**、**「水位を速やかに下げる」**

→印旛沼と接続する河川整備（河道掘削、築堤等）

→予備排水も含めた印旛沼水位低下に資する排水機能強化

→雨水貯留浸透施設の整備など流域全体の貯留機能強化

○堤防決壊リスクを低減させるための**「堤防強化・整備」**

→湖岸堤等の強化・整備

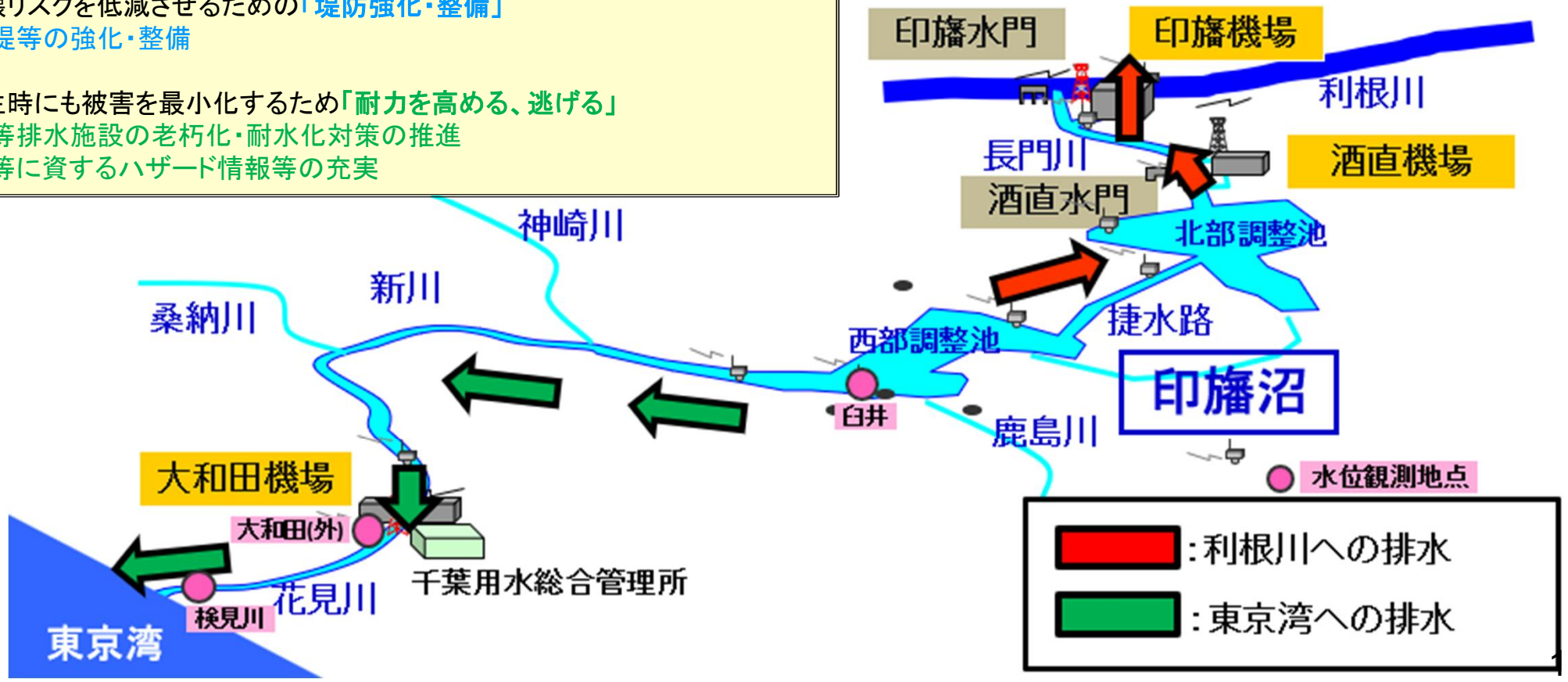
○浸水発生時にも被害を最小化するため**「耐力を高める、逃げる」**

→内水等排水施設の老朽化・耐水化対策の推進

→避難等に資するハザード情報等の充実

※利根川・江戸川流域治水プロジェクト2.0（R6.3更新）を参考に関連する取組を示したもの

※具体的な取組は今後の千葉県や流域自治体等における検討により変更される可能性がある



【台風第25号】土砂災害発生状況

令和8年10月16日現在 速報版

土砂災害発生件数

816件

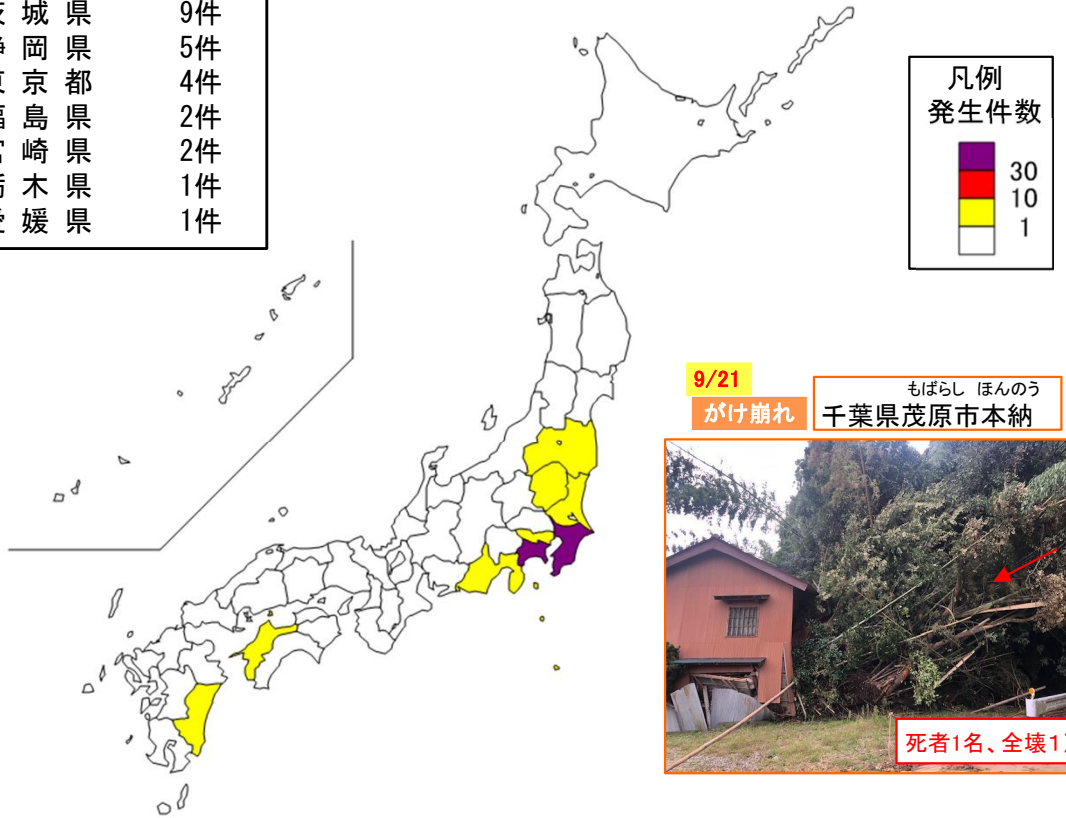
土石流等：　5件
地すべり：　5件
がけ崩れ：　806件

【被害状況】

人的被害	：死者	１２名
	負傷者	８名
人家被害	：全壊	４７戸
	半壊	３８戸
	一部損壊	１１７戸

発生件数内訳	
千葉県	604件
神奈川県	188件
茨城県	9件
静岡県	5件
東京都	4件
福島県	2件
宮崎県	2件
栃木県	1件
愛媛県	1件

※これは速報であり、今後数値等が変わる可能性があります。
※都道府県砂防部局からの情報により集計しており、確認中も含まれます



9/18 がけ崩れ
にちなんしいたじき
宮崎県日南市板敷
死者1名



9/21 がけ崩れ
みうらし　みなみしたうらまち
神奈川県三浦市南下浦町
死者1名、
全壊1戸（アパート）



9/21 がけ崩れ
もばらし　ほんのう
千葉県茂原市本納
死者1名、全壊1戸

9/21 がけ崩れ
さんむし　もり
千葉県山武市森
死者1名、全壊1戸



9/21 がけ崩れ
みうらし　はっせまち
神奈川県三浦市初声町
死者1名、
全壊1戸



9/21 がけ崩れ
よこすかし　ながい
神奈川県横須賀市長井2
死者2名、全壊1戸



9/21 がけ崩れ
よこすかし　ながい
神奈川県横須賀市長井1
死者1名、
一部損壊1戸



9/21 がけ崩れ
かもがわし　こみなと
千葉県鴨川市小湊
死者3名、全壊8戸



9/21 がけ崩れ
かもがわし　にしちょう
千葉県鴨川市西町
死者1名、負傷者1名、
全壊3戸



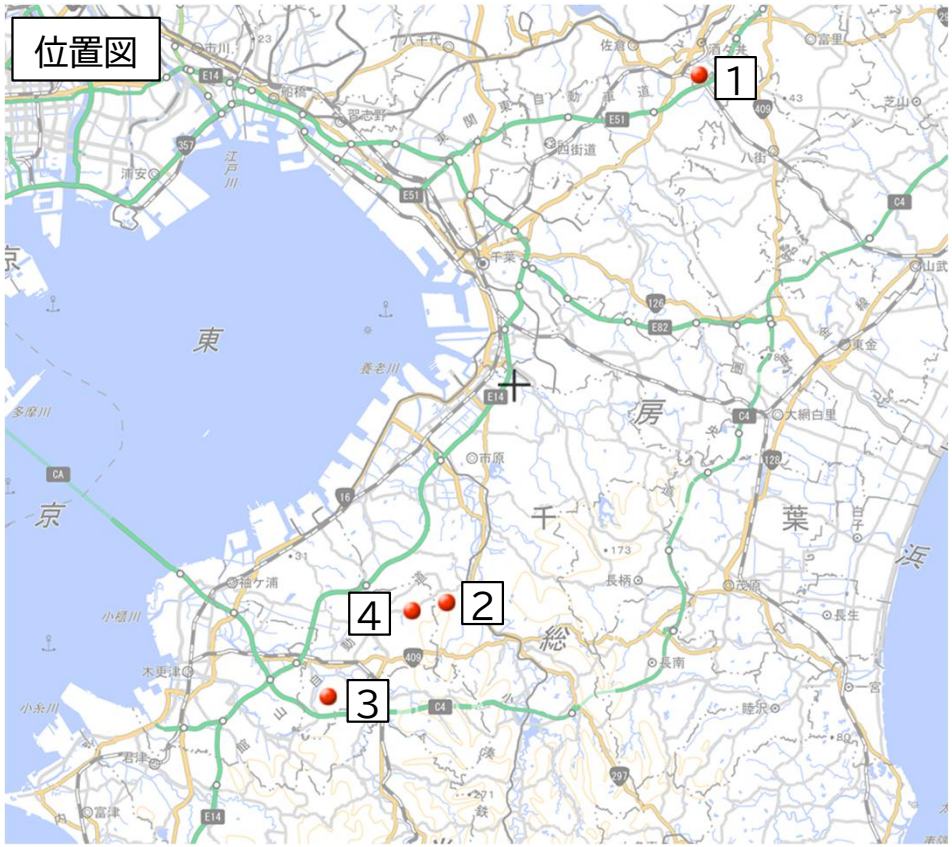
【台風第25号】盛土崩落発生状況

盛土の崩落状況（9月28日（月）時点）

No.	発生場所	造成年代	崩落前の状況	備　考
1	千葉県 酒々井町 馬橋	H13年頃	公物法※1を根拠に町が行政代執行中	・準用河川の閉塞 ・住家床上浸水
2	千葉県 市原市 上高根	H15年頃	R4年に土地管理者が災害防止の必要な措置を実施済	・農業用倉庫の崩壊 ・市道に土砂流入
3	千葉県 袖ケ浦市 大竹	R6年頃	盛土規制法違反※2の盛土としてR7年以降に県が行政指導中	・水田、市道に土砂流出
4	千葉県 袖ケ浦市 川原井	H26年頃	R5年に事業者が是正措置済	・住家被害 ・水田、県道に土砂流出

※1：公共団体の管理する公共用土地物件の使用に関する法律（大正3年法律第37号）

※2：R5.5.26の盛土規制法施行後、R7.5.26に千葉県全域が宅地造成等工事規制区域として指定され、規制が開始されている。



数字は表中のNo.









写真：盛土の崩落状況（数字は表中のNo.）

写真提供：千葉県

【台風第25号】千葉県酒々井町の盛土崩落概要

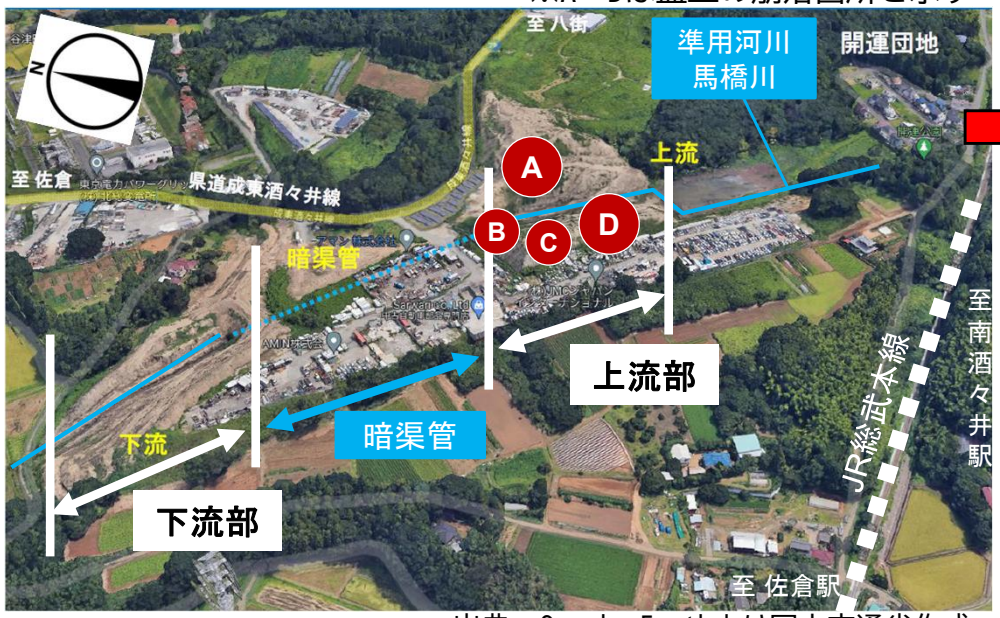
○盛土の崩落によって馬橋川の暗渠管の流入口が閉塞し、上流部の開運団地では9月21日から家屋の浸水被害が発生
○開運団地における浸水は、国及び町による排水作業により10月13日に住宅地における浸水解消

◆位置図



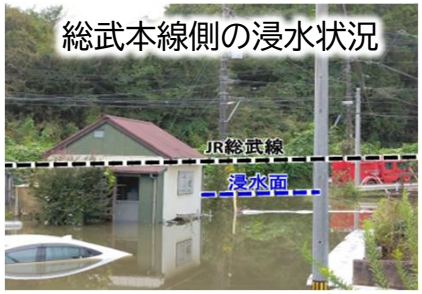
出典：国土地理院

※A～Dは盛土の崩落箇所を示す



出典：Google Earthより国土交通省作成

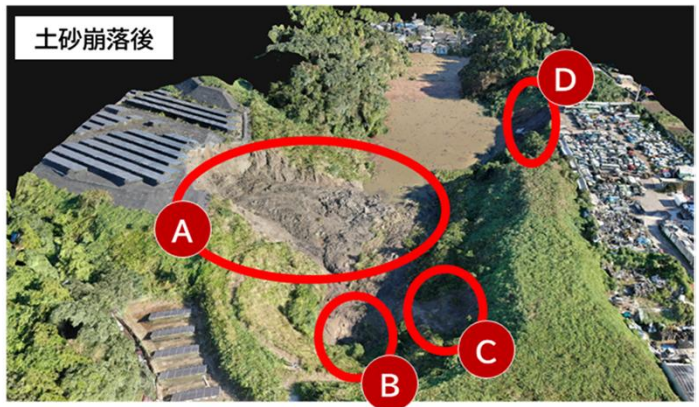




◆土砂崩落（上流部）前後の様子（9.27時点）



Google Earth画像



関東地整TEC-FORCEのドローン測量による三次元点群データ



【中小河川等水害】　課題と対策の方向性（案）

○ 今回の都市部郊外の中小河川等における施設の整備水準を超える豪雨によって生じた被害状況と、これまでの対策の状況と効果等を踏まえつつ、課題と対策の方向性について整理。

①事前の備えの強化

現時点で判明した主な課題	対策方針（案）
• 内水のリスクに関する情報（浸水想定、ハザードマップ）の周知が不足 • 内水と外水のリスクに関する情報を両方を確認することへの意識啓発 • 内水と外水のリスクに関する情報（浸水想定、ハザードマップ）に空白域が存在する	• 浸水想定、ハザードマップ等のリスク情報の周知・徹底 8月24日に関連通知を発出 • 重ねるハザードマップによる一体的な情報提供の推進 • 低地などの地形を反映したリスク情報を早期に整備するとともに、浸水を想定するための簡易な解析手法を開発・整備を目指した取組の実施

②氾濫から命を守るための避難行動の支援策

• 中小河川氾濫に関するリアルタイムの情報の充実	• 危険箇所等においてリアルタイム観測機器（水位計、浸水センサ等）の設置を促進し、収集した浸水情報等の利活用方法を検討 • 衛星画像の活用等による、浸水範囲を迅速に把握する仕組みの構築

③氾濫による浸水被害を軽減するための治水対策等

• 治水整備が途上である中での計画を上回る規模の豪雨により、外水・内水氾濫が多発し、深刻な社会経済被害が発生	• 河道掘削、堤防強化・整備等の河川を中心としたハード整備の加速化・強化 • 民間による防水板等の浸水防止用設備の設置促進や官民連携による雨水貯留対策の推進、住まい方の工夫 • 排水施設等の耐水化、計画的更新 • 継続的な維持管理による既存施設の機能確保
• 豪雨による盛土崩落により、河川が閉塞し、家屋の浸水被害等が発生	• 既存の盛土について、盛土等の状態や周辺への影響等を踏まえて、緊急性の高いものから、盛土規制法にもとづき都道府県等が躊躇なく行政代執行を行い、応急対策・崩落対策に取り組むことを推進